



JUJUTSUKAISEN
UNOFFICIAL
FANBOOK

yuji itadori

x

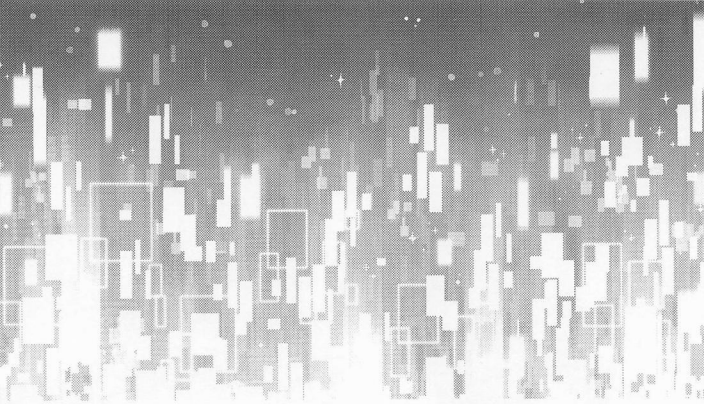
choso

はじめはようだい

my innocent brother



はじめてまようだい



諸注意

この本には以下の要素が含まれています

★攻め喘ぎ・断面図・攻めフェラ
汚喘ぎ・結腸責め

★捏造多め

★単行本29,30巻収録の話のネタバレ要素



行き場を失った俺は
ただただ 闇雲に
呪霊を祓う旅を続ける





あ…



じーん



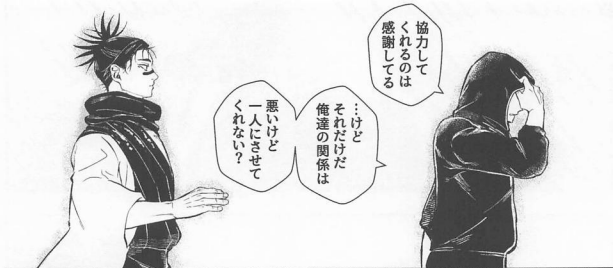
いや、いきなり
撫でようと
すれば驚くよな
すまなかった

…何それ
また
『お兄ちゃん』
だから？



悠…

ごめん





↓出どころ



ま、いつか
俺も麺類
好きだし

ありがと
一緒に食おうぜ

よしきた
では湯を
沸かせる
所を探そう

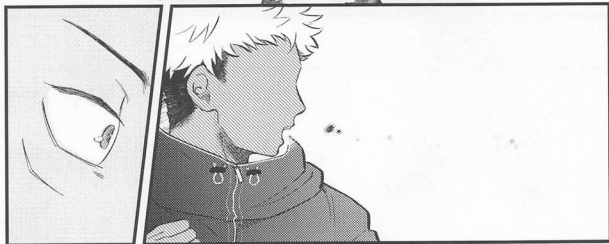
もふり

俺達は ただただ 祓う旅を続ける

兄と名乗る
よくわからない男と
依然として距離は
保ったまま

でもたまに
ほんの少しだけ
おこがましい
妄想をする

もし俺に
兄貴がいたら
あんな感じ
なんかなくて



念の為に
言っておく

俺の血は
猛毒だ

オマエは
実感が
ないかも
しれないがな

ズ
リア
ア
ア
ア

…知ってる

あの
裏梅…って奴が
ダメーじ
受けてんの
見たから

そうだ

僅かでも
体内に入れば
行動不能にできる

使い方によっては
命を奪う事さえ
容易いだろう
本来は…な

ぽんっ

!!

戻せん
のそれ?!

これは
俺の呪力
そのもの

ああ
体内に再び
巡らせ
馴染ませていく

いわゆる
『再利用』だな

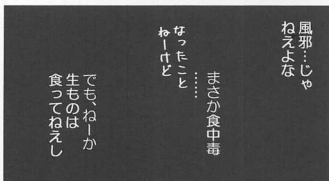
ド...



この辺りの
呪霊は一掃できた

今日はもう
休むとしよう

お...応



ぽややーん

なんだ？

顔の中心が
生あたたかい！

?!

ゆうじ？!

めれる
めれる

ちゅぽ...

ごめん

どうしても
抑えられなくて

水飲んでも
喉が渇くし
あつくて
さむくて

…俺
脹相に
隠してる
ことある

はなせ
離すんだ！

言ったじゃないか
俺の血は猛毒だと

いくら
オマエでも
腹をこわすぞ…

すごい
ちからだ



今日、オマエが
超新星きめた時に
俺近くに
いただろ？

その時
血の欠片が
口に入って

飲んだのか

きっと
原因は



死にたいのか？



ゴメン…
本当に

見透かされ
てんだな

死ぬつもりは
ないから
まだ、ここでは



……
馬鹿な真似を

ズル……



毒に強いだの弱いだの
以前の話だ！
百飲は膨大な血液を
圧縮したもの

ほんのひと欠片だけ
口に含んだとしても
どう影響を及ぼすのか
わからないのだぞ
赤血操術を侮るな

イカレてるよな
こんな時に
ちんこおっ勃つ
なんてさ

しかも
相手は男

全部
オマエの血が
原因でこう
なってるの？

それとも
死に近づく
性欲が高まる
って奴なん？

なあ、コレ
どうしたら
いいん？

教えてくれよ

俺
虫のいい事
ばかり
言ってるな

…
脹相

辛かった
だろうに

わかった

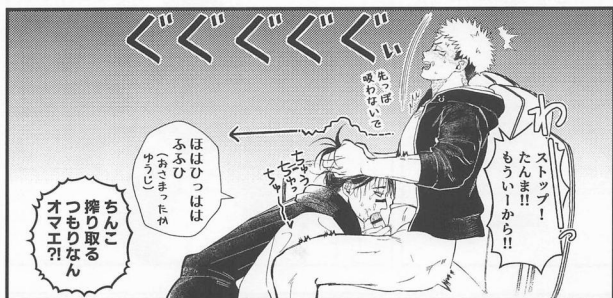
じくじく
悠仁

安心しろ

すぐにお兄ちゃんが
なんとかしてやる
からな











俺のような
半呪霊に急所を
まさぐられるのは
さぞ不快だった
だろう

無理強いを
させて
しまったな

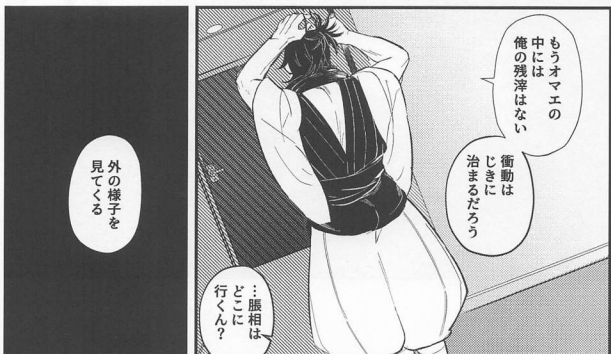


…そうだな

オマエの
言う通りだ



悪かった

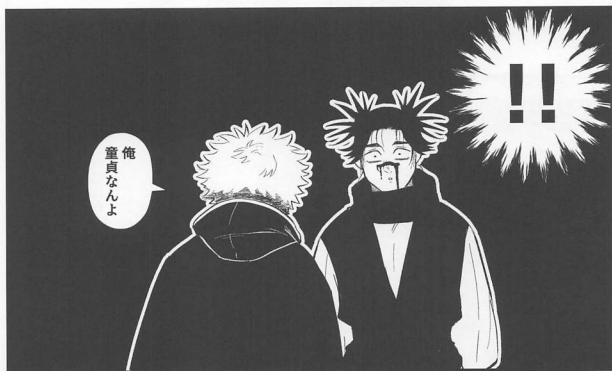


もうオマエの
中には
俺の残滓はない

衝動は
じきに
治まるだろう

外の様子を
見てくる

…脹相は
どこに
行くん？



初めては
彼女ができたら
キスとか、段階踏んで
……とか漠然と
考えていたけれど

色々あったから
もうそんな余裕
なくなったのが
正直な気持ち

オマエに
フェラされて
びくくりはしたけど
結構……
気持ちよかったし

つまり
その

興味あるっつーか
えっちな……です

あ！でも
オマエがもう
そのつもりないなら
やめとく……

ゆうじー
ト
パ
ア

ふ……ふふふふ
お兄ちゃん
悠仁が望むなら
なんでもして
やるからな

カア
カア
カア

怖

恥ずかしがるな
なんなら
着たままでも
かまわないぞ？

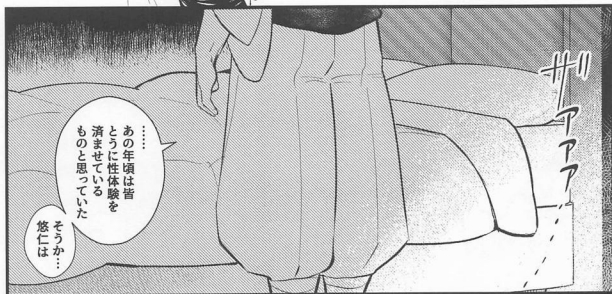
おまへ

パンッって
びびるって

せめて
シャワー
浴びさせて
ください！
お願い



パタン



わかった
では支度を
しておこう

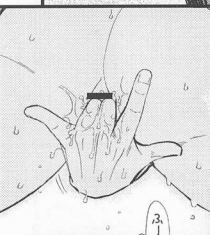
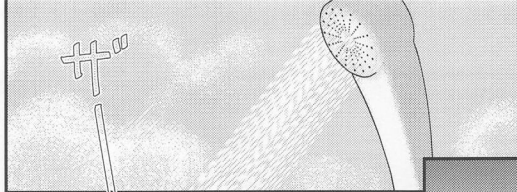
※処女



抱えつくを
決して
気取られさな

弟が頼って
くれているんだ
それを聞かずに
何が兄か





ああ悠仁
待たせたな

尻を整えた
すぐ行く

トロオ...

アレ...?
ローション
アツタツケ?

コッ
ヒジネスホテル
ダヨネ????

赤血操術で
愛液を分泌
できるように
した

オマエ
マジか?!

器の知識から
どうやら

オマエの
おちんちは
大きい部類に
入るらしい

ほぐすのに
手間取ったが
もう大丈夫だ

おいで悠仁

満足させて
やるからな

ギシ...

プーン

自覚ないんかい!

?

おーまー
えーはー

童貞を
刺激すんの
いい加減に
しろよ?

へ...へえ
まあ男の
身だしなみつて
言うもんな

意外と遊んで
るんかコイツ



買った
お守り代わりに
なるそうだな

大体なにこのゴム
いつ買ったの?!



↑※渋谷ハロウィンの時にキャンペーン的な、通りすがりに

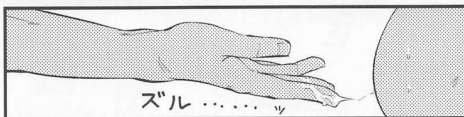
てかさ!
俺だけ
フルチン
するいんじゃ
ねえの?

ぽっ

オマエも
脱げ!!

ス〜キューウウウン





オマエ
エロすぎるん
だつての!!!

ズググググ...

あ...ああ...ッ

ズググ



あ、あつ
ふ...深いッ

んーまだ...
全部入って
ねえし
おん?!
は...は...

もうちょい
動くよ

ぬ...こ

ぬ...こ



すっげえ
気持ちいい
キモチイ
ヤバすぎ

はい...ツツたあ♡

こ、これ
以上は
むり壊れ
あ...あ...
ん...ん...
ア...ア...

ばちゅん

大丈夫
ゆっくり...
いから





くっくく

もう少し
もう少しで
なにか！

んあッ
あッ
あッ

ひゃるるるーッ

ジュー
「ふいふい」
「ドク...アプ...」



悠「」
突かれるたびに
胎の疼きが
高まっていく



もう...
出ました

面目
ゴザイマセン
盛り上がった
ところで



回復!!
早!!



たくさん
出したな

たぶん

気にするな
初めては大抵
こうなるらしい
(と、器の知識が)



服相

ゴメン
一回だけ



生で
やらせて
...いいぞ

ううん!!

精液は胎内で
呪力に
変換できる
気にするな

そう...
そのまま
ゆっくり

ふふ
とてもない
圧迫感だ、な

すっげ...
ナカ
あっつい

ちんこに
直に
絡みついて
くる...ッ



ぬぬぬ...ッ



あう
こえ、出
はッ

ズッ
ズッ
ズッ

アッ
ふん♡

はあッ

やべえイクッ

ちんこ
とけそうッ♡

胎に響く

悠仁の
甘い声...

ふん♡



オマエが
思ってるより
俺は頑丈だから

そう
怖がらなくて
いいよ

そういう
身体なんよ
生まれつき

生まれつき
誰よりも強いから
だから大勢の人達を
助けるヒーロー
気取りでいたよ

こわい
お母さんたすけて

そう
思い込んでいた
間違っていた

美々子!!

早く帰りたい!!
帰せよ!!

死にたくない

は頼みます

いっぱい取り返しの
つかないことをした

痛いいたい
あついいやだ

俺に...
誰かと愛し合う
資格なんかない

なにに寂しさは
抑えられなくて

オマエの優しさに
潰け込んで
エッチしちゃって

...本当に
ごめんなさい

悪くなかった





俺は悠仁の
すべてを受け止める
だから

俺の身ひとつで
少しでも苦しみを
紛らわせられる
なら安いものだ

この呪いを祓う術は俺にはない ならば

オマエがいつばい
気持ちよくなつて
くれたら嬉しい

チュウチュウ
吸いついてきて
やば……ッ

ちゅぽ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

声
さっきまでと
全然違え
苦しい？

ちゅ……違
頭の中ずつと
ふわふわして

とろけそう
だあ……

そよかった
それが
気持ちいい
だよ

俺だけ
気持ちいいの
やだから

ちよーそー
俺と一緒に
気持ちよく
なつてよ

あ……
一緒……

すげえ
ナニコレ
行き止まり
……?!





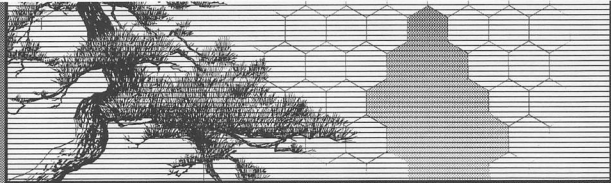




世話が
焼ける...

その夜、俺達は
夢を見る事もなく
深く眠り

そんな俺達が
狩りの後は必ず
身体を重ねるよう
になるのは
必然であった



うわ
キッショ

本当にあの子と
したんだ

セックス



何でわかるんだって
顔をしているね
だって
丸見えなんだもの

胎から僅かに
あの子の
呪力を感じるよ
まったく
どうやって
話ったんだか

まあそういう風に
君を『仕込んだ』のは
私なんだけどね

お得意の
下衆な
勘ぐりか？

クソ親…

生憎私は
腹を痛めて
産んだ割に
親の情よりも
知的好奇心の方が
勝っちゃったん
だよな

宿儺の器と
特級呪物の
交配実験…
なんてね

ああ怒らないでよ
あまり情が移ると
後悔するんじゃない？
失敗作な君でも
わかるよね？

わー
罵倒まで
普通だね

悠仁まで
弄ぶのか？
実の子を

わかつてはいたが
骨の髄まで
腐りきった外道め

自分が何なのか、立場を理解しなよ 脹相



クソ親の夢で
寝覚め最悪
だったがのおかげで
浄化されたよ

俺達は、大切なものを奪われ、失い、惨敗して帰還した



脹相



それよりも
九十九さんの
事…





悠仁はほぼ毎日 俺の部屋で
寝るようになった

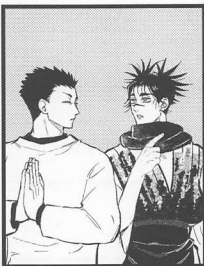




最近の
アイツ見てて
どう思う？

えー
どうって…
面白い
ナマモノ？

うん、同感だけど
ほら、鼻のヤツ
薄くなってきた？
とかあるでしょ



俺の前じゃ
見せたことない
顔してんだけど

すっかり
馴染んでるし

悠仁ー
血がたれてる
たれてる

またまたまた

集中！

方を教わっている
園

違えて
先輩達に迷惑
かけてないか
目が離さんの

素直じゃないねえ
じゃ、先生が
代わりに
声かけようか？

ナカマニ
イレテー

やめて！

どしたの
お兄ちゃんが
弟離れしてて
寂しい？

今朝も隙あらは
俺の世話焼いて
きたし

らしくないじゃん
いつもの悠仁なら
悩む間もなく
行動してるでしょ

あー…
よく
わからんけど

↑ 赤血+反転術式の練習中

あいつが
俺と仲いい人達と
仲良くしてるの
見てると

嬉しいのかな
胸の奥が暖か
くなるんよ

でも同時に
モヤモヤもしてきて
俺、こんなに
心狭かったんだなって
不筆脈？



悠仁
これから僕の言う事は
教師ではなく
ただのめんどくさい
おじさんの独り言
として聞き流してほしい

僕の親戚と
その親友の話

二人は無二の間柄で
毎日馬鹿やったり
しょーもない事で
大喧嘩してばかりでさ

その度に先生に
拳骨をくらったり
女友達にゴミを
見るような
眼差しをくらったり
してたとき

昔話？！

奴にとつて
親友との日々は
無敵で面白おかしくて
きらめいていたんだと

めんどくさいて
自覚あったんだ…

けれど
永遠だと思っていた
それはただの
傲慢だった

ほら
呪術師として
生きていくなら
誰にでもあること
だしさ

どちらに非が
あったとか
正しかったとか
そうじゃなくて
ちよつとした
ボタンのかけ違いで
当たり前だった
日常は失って
しまふんだよ

…その人
ずっとそれ
後悔してるの？

どうだろう

もう
疎遠だから

え、もしかして
かなり秘密の話
だった…

だから！悠仁には
その親戚のアホと同じ
過ちは繰り返して
もらいたくないの
日々を大切に！だよ

ヨース
ヨース

身内相手に
こじらせると
後まで
引きずる事に
なるからね

だから
そんなんじや
ねえって

でも
ありがと先生

ちよつと勇氣
出してみるよ

よつしゃ！
金次的に言うなら
熱は熱いうちに
だな！！

ついでにがつつり
叱ってやってよ
あのお兄ちゃん
わけわかんねーし

へー
脹相が？
どんな
無茶ぶり
したん？

おう聞いて
くれるか
酷いよ？

かかくしとかじか…

な？

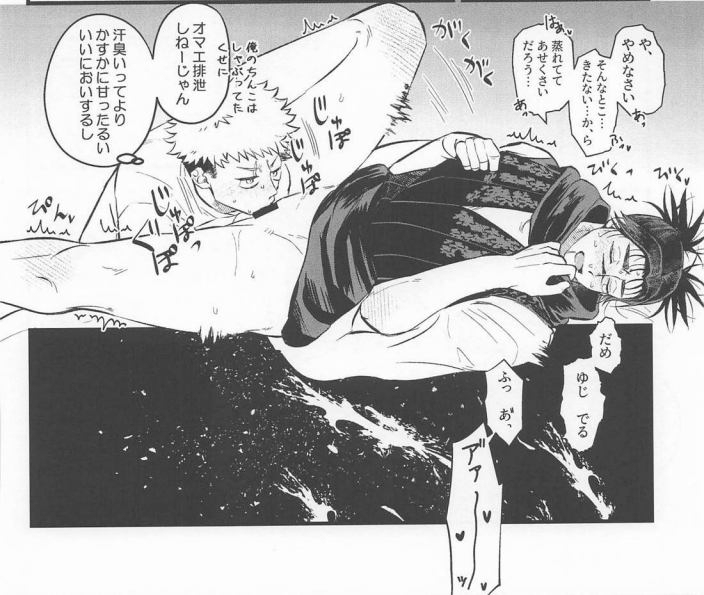




悠仁?!

はるい...









俺は
思ったんだ

あのな悠仁

受肉体という存在は
災いの引き金になるが
同時に器は
竊索の犠牲者でもある

この戦いが終わり
器の魂が無事なら
持ち主に
返さなければ
ならない

それは俺として
例外ではない

俺のせいで
悠仁を巻き込み
将来に影を
落とすような
真似まではしたくない

だから
五条先生に
つてこと…？

生憎即答で
お断り
してまよ

そんな
俺だって
似たような
もんだし、

いつ処刑…
死んでも
仕方ない
立場だし

将来なんて

考えたことも
なかった

オマエが
いてくれたから
もう少し

生きてみようって
気持ちに
なりはじめて
いたのに

勝手にいなくなる気
満々でいるんじゃない
ねーよ馬鹿



こんな…
全部ツ
オマエのせい
だからな…

もう感情
めちゃくちや
だつての

ファーストキスも
童貞も…全部
オマエに奪われて



あ
あれ?!

和和和和



ゆう…?!

こっち
見んな

止まらんし!



離せよ
馬鹿眼相!

悠仁



始めはその
意味が
わからないまま

まずはオマエを
見習うことにした

はい
チーン



ヨス
ヨス

仲間達と
行動を共にして
対話をして

『人らしさ』を
理解しようと



俺は九十九に

『人として
生きろ』と
託された

…それで
どうだった？

実はまだ
よく
わからない

やはり俺は
半分呪いが
混じっているから
だろうか

認めたくはないが
『兄』としての役割に
固執してしまう
のかもしれない

悠仁
たった一人
残された
大切な
俺の弟

俺はオマエに
言えない
過ちをたくさん
犯してきた

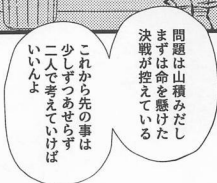
兄として
この命を
懸けるしか
償う術を
知らない

だが、ただの
『腹相』として
心の奥で
抑えつけられた
本心は…

俺は
生きたい

許されるのなら
共に生きて、愛して
オマエが幸せである
未来を見届けたい

ギュウ…







別にさ
指輪に
こだわらなくても
いんじゃないの？

脹相の
す好きなように
してくれば…



それも
そうだな



お…ッおつま
恥っす！

意味
わかってんの？！

カカカ
カカカ
ポカポカ

悠仁
いたいたい
お兄ちゃんの
魂にダイレクトに
響くからそれ





なー脹相

どうした？

なんでも
ねーけど
……ええと

好きな
ラーメンの話
していい？

ああ あの
故郷で食べた
という？

悠仁と初めて
食べた
ラーメンを
思い出した

いいのか？

宿儺との戦いまで
あとわずか

この先どんな運命が
待っていようと
俺達はもう、覚悟を決めている

当たり前
だら？

脹相を連れて
いきでーの！
……俺ん家に

よし！
言えた！！

ゆうじ
それって

聞くな
察しろって

そうそう
仙台だけど
熊本ラーメン

……でき
脹相も一緒に
行こうよ
そのラーメン屋

いや
うどん
だったろ
うしは

←風呂上がり

事後

ふー
ふー

張相
もう寝て
しまったん

ポン

KIRARA

悠ちゃんへ
お納めください

あー昼間
撮ってたっけ
……

ふはっ
キス待ち
かよ!!



キス……



ぬっ

すけべ
画像か?

元気だな
悠仁は



あまけ

しねえからな

お兄ちゃん
悠仁が望むなら
ハメ撮りだつて

さっさと
二度寝しろ

もじ
もじ



↑この後、こっそりと
待受け画像にするし内心ハメ撮り
にも興味津々な悠仁であった
(綺羅羅にも倍返しのお礼をする約束した)

あとがき



お読みいただきありがとうございました！

ラストはあそこ一区切りしていますが、ゆちょ成立ルートなので

原作通りの結末を迎えるかもしれないし

兄弟二人でたらくも生還するかもしれません。

投げっぱなし…いや、皆様のご想像にお任せいたします。

おたち

【補足】五条先生は過去の親友(夏油)との思い出をずっと大切なものとして誰にも明かさず秘密にしていたと思うのですが、服相に虎杖を託されそうに告げられる+拗らせかけている虎杖見ていて、重ねるとはなくても最初で最後の告白をしたくなったという感じです(271話でのやり取りの延長のような)

はじめましてようだい

発行者: 式番道路在住/尾立はてな

発行日: 2024年12月1日(12月22日改訂)

印刷所: スロス 様

E-mail: otto_osm-htn@yahoo.co.jp

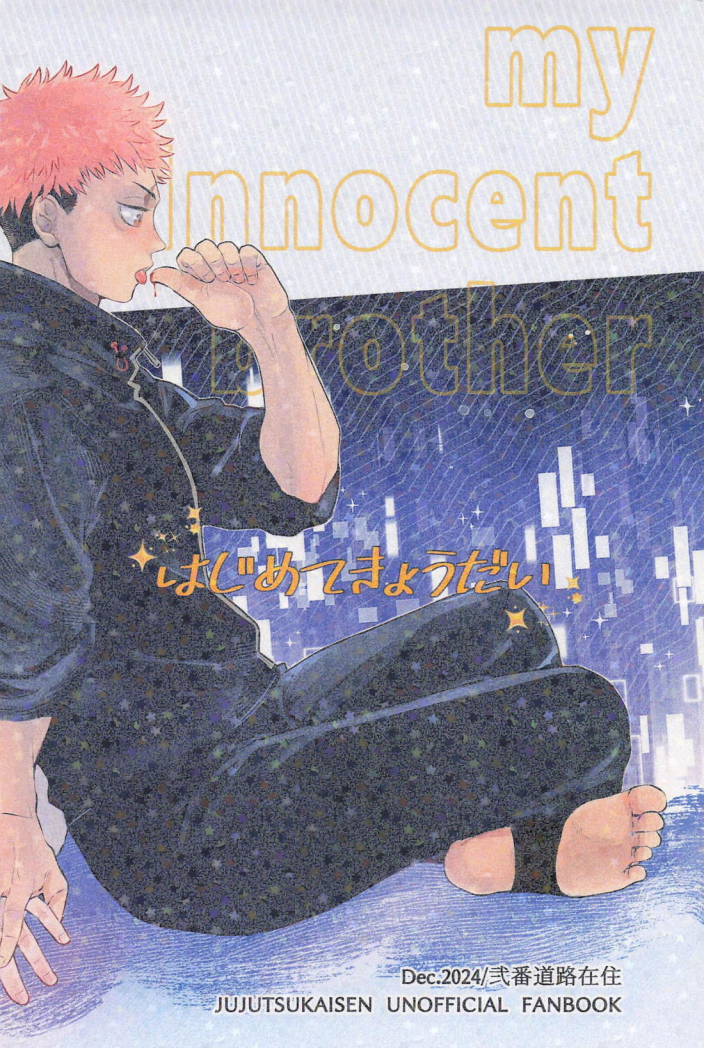
twitter: @OttHtn

↓感想いただけると
嬉しいです



無断転載・複写・アップロードを固く禁じます。

フリマアスリ・オークション等への出品・転売はご遠慮ください。



my

innocent

brother

はじめてまようだい

Dec.2024/式番道路在住

JUJUTSUKAISEN UNOFFICIAL FANBOOK